

# 償還 運用報告書（全体版）

第6期<償還日 2023年6月9日>

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単体型投資 / 内外 / 資産種別
信託期間	2018年5月21日から2023年6月9日までです。
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を図ることを目的として、運用を行います。
主要投資対象	株式会社静岡銀行が発行する米ドル建て割引債券を投資対象とします。また、スワップ取引を通じて、実質的に国内外の株式、債券、金等に分散投資を行った場合における投資成果の獲得をめざします。
運用方法	<p>米ドル建て債券投資（安定運用部分）により満期償還時<sup>*1</sup>に米ドルベースでの元本<sup>*2</sup>を確保することをめざします<sup>*3</sup>。加えて、実質的な国際分散投資（積極運用部分）によりこれに超過収益を上乗せすることをめざします。</p> <p>*1 ファンドは、信託期間約5年の単体型投資信託です。 *2 当初元本（米ドルベース）のことをいいます。 *3 投資する債券の発行体が債務不履行となった場合等には、元本確保できない場合があります。</p> <p>安定運用部分では、額面の100%で償還することを前提とした株式会社静岡銀行（以下、「静岡銀行」）が発行する満期5年の米ドル建て割引債券（以下、「静岡銀行債」）に投資します<sup>*4</sup>。</p> <p>*4 満期まで保有することを前提とし、原則として銘柄入替は行いません。</p> <p>積極運用部分は、実質的に国内外の株式、国債、金等を投資対象としこれらの資産の配分比率を機動的に変更することにより収益の獲得をめざします<sup>*5</sup>。</p> <p>*5 具体的には、ファンドはゴールドマン・サックス証券株式会社（以下、関連会社を含め「ゴールドマン・サックス」といいます。）を相手方とするスワップ取引を通じて、国際分散投資を行った場合に得られると考えられる収益合計をファンドの満期償還時点で獲得することをめざします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極運用部分の実質的な投資金額（スワップ取引の想定元本の総額）は、安定運用部分の米ドル建て債券額面の約100%とします。</li> <li>・積極運用部分では、「ゴールドマン・サックス・ダイナモ」1V4エクセスリターン戦略（以下、「ダイナモ指数」）を参照します。</li> <li>・ダイナモ指数の実質的な投資対象資産は、日本株式、外国株式（米国株式、欧州株式、新興国株式）、日本国債、外国債券（米国国債、欧州国債）、金、米ドル現預金です。</li> <li>・ダイナモ指数の目標リスク水準は、年率4%程度（年率、米ドルベース）とします。</li> </ul> <p>資産配分比率の変更は、基本的には月次で実施されますが、月中において資産全体の変動率が高まった場合などは日次でも実施されます。</p> <p>外貨建資産については、為替ヘッジは行いません。</p> <p>ファンドは、静岡銀行およびゴールドマン・サックスの信用リスクを抑制するため、それぞれから必要な金額の担保を受領します。</p>
組入制限	<p>株式への投資割合には、制限を設けません。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</p> <p>スワップ取引、金利先渡し取引、為替先渡し取引、有価証券先物取引等の利用はヘッジ目的に限定しません。</p> <p>一般社団法人投資信託協会規則に定める一者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャー及びデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会の規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行うこととします。</p>
分配方針	決算日（原則として5月20日。休業日の場合は翌営業日。）に、元本超過額または経費控除後の配当等収益のいずれか多い額の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

## しずぎん国際分散投資戦略ファンド2018-05

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「しずぎん国際分散投資戦略ファンド2018-05」は、この度、信託期間を満了し、償還の運びとなりました。

ここに、運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

## ■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	基 準 価 額			受 益 者 回 り	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率	元 残 存 本 率
		税 込 分 配 金	期 騰 落 額	中 期 騰 落 率				
(設 定 日) 2018年5月21日	円 10,000	円 -	円 -	% -	% -	% -	% -	% 100.0
1期 (2019年5月20日)	9,860	0	△140	△1.4	△1.4	88.5	-	96.0
2期 (2020年5月20日)	10,253	0	393	4.0	1.3	90.5	-	72.3
3期 (2021年5月20日)	10,447	0	194	1.9	1.5	91.3	-	53.4
4期 (2022年5月20日)	11,663	0	1,216	11.6	4.2	93.7	-	46.0
5期 (2023年5月22日)	12,853	0	1,190	10.2	5.7	94.5	-	37.0
(償 還 日) 2023年6月9日	(償還価額) 13,050.19	0	197.19	1.5	6.0	-	-	37.0

(注1) 設定日の基準価額は、設定当初の金額です。

(注2) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込みです。

(注3) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注4) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークは定めておりません。

(注5) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

## ■当期中の基準価額の推移

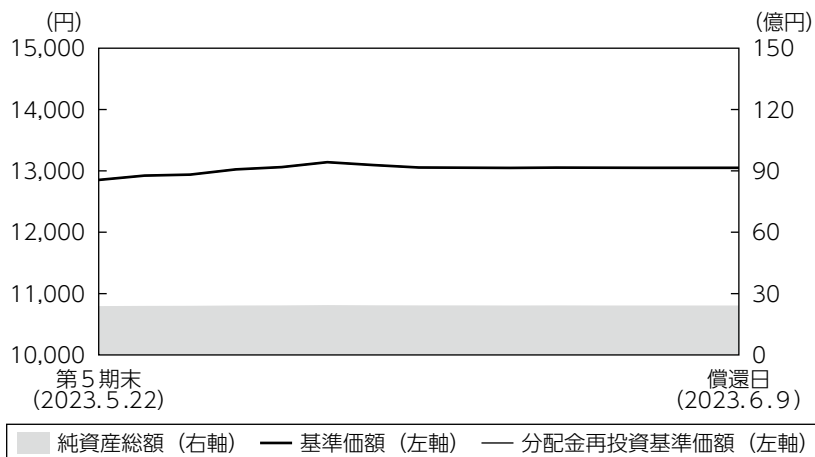
年 月 日	基 準 価 額	基 準 価 額		債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
		騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2023年5月22日	円 12,853	% -	% -	% 94.5	% -
5月末	13,056	1.6	-	-	-
(償還日) 2023年6月9日	(償還価額) 13,050.19	1.5	-	-	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

## ■設定以来の運用経過（2018年5月21日から2023年6月9日まで）

### 第6期の基準価額等の推移



第6期首： 12,853円  
償還日： 13,050.19円  
(既払分配金0円)  
騰落率： 1.5%  
(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。単位型投資信託の分配金は実際には再投資されませんのでご注意ください。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注3) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。静岡銀行が発行する米ドル建て割引債券（安定運用部分）において、米ドル高（対円）による評価額の上昇がプラスに寄与しました。一方、スワップ取引を利用した実質的な国際分散投資（積極運用部分）では、参照指数であるゴールドマン・サックス・ダイナモJ1V4エクセスリターン戦略（以下、ダイナモ指数）の水準が低迷した影響を受けて収益の上乗せが得られませんでした。

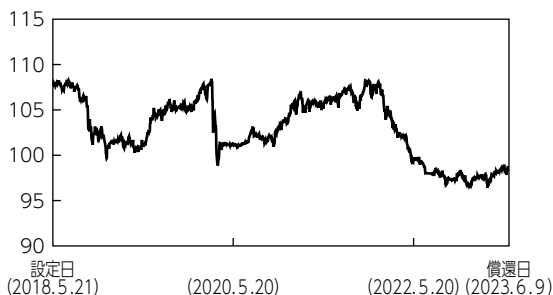
設定来では基準価額は30.5%上昇しました（分配金再投資ベース、設定来の分配金0円）。静岡銀行が発行する米ドル建て割引債券（安定運用部分）において、額面の100%での満期償還に向けた価格上昇と米ドル高（対円）による評価額の上昇がプラスに寄与しました。一方、スワップ取引を利用した実質的な国際分散投資（積極運用部分）では、参照指数であるダイナモ指数の下落などの影響を受けて収益の上乗せが得られませんでした。

米ドルベースの元本は、設定時90.02米ドル（当初元本10,000円÷為替レート111.09円）でした。償還時の米ドルベースの基準価額は93.79米ドル（償還時基準価額13,050.19円÷為替レート139.15円）となり、米ドルベースの元本を確保しました。

## 設定来の投資環境

米国債券市場は下落（利回りは上昇）しました。米中の貿易摩擦問題による景気悪化が懸念されたことや、新型コロナウイルスの感染拡大により景気悪化が警戒され、金融緩和策が実行されたことから、2020年にかけては上昇基調（利回りは低下）となりました。その後、経済の正常化に伴いインフレ圧力が強まる中で、積極的な利上げが実施されたことから下落基調で推移しました。また、ダイナモ指数は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた株式市場の下落局面や、債券市場の下落局面でのマイナス影響などから下落しました。

## <設定以来のゴールドマン・サックス・ダイナモJ1V4 エクセスリターン戦略の推移（ダイナモ指数）>



(注) 上記グラフは、ゴールドマン・サックス証券から提供を受けたデータを基に作成しています。

為替市場では米ドルに対して円が下落しました。新型コロナウイルスの感染拡大などを背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから2020年までは円高基調となりましたが、その後は、米国でのインフレ圧力が強まり積極的な利上げが実施された一方で、日本では金融緩和策を維持する姿勢が継続したことなどを背景に円安が大幅に進行しました。

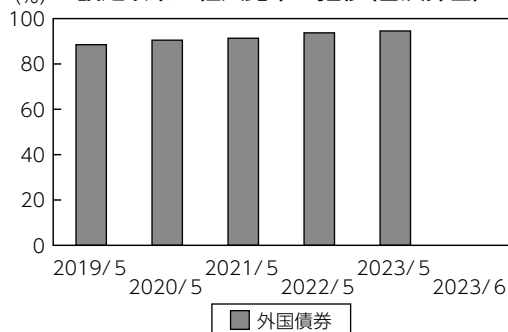


(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。単位型投資信託の分配金は実際には再投資されませんのでご注意ください。

(注2) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。

## <設定以来の組入比率の推移(各決算日)>

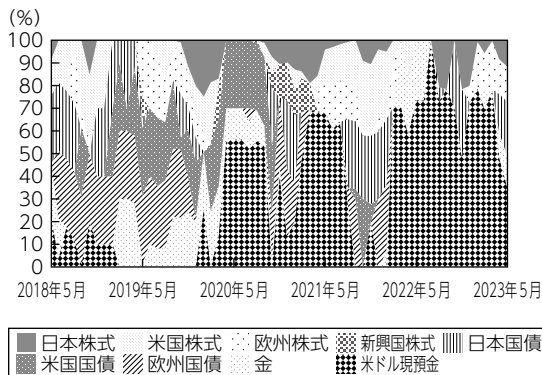


(注) 組入比率は純資産総額に対する割合です。

## 設定来のポートフォリオについて

安定運用部分では、額面の100%で償還することを前提とした静岡銀行が発行する満期5年の米ドル建て割引債券に投資を行い、満期まで保有することを前提に保有を継続しました。これにより満期償還時に米ドルベースでの元本確保をめざしました。また、積極運用部分では、ダイナモ指数を参照するスワップ取引を通じて、実質的な国際分散投資による収益の上乗せをめざしました。

### <設定以来のダイナモ指数の資産配分比率の推移 (2018年5月～2023年5月、月次) >



(注1) 上記は、ゴールドマン・サックス証券から提供を受けたデータを基に作成しています。

(注2) 上記は、当ファンドの資産配分ではありません。

(注3) 参照指数は、日本株式：T O P I X先物に連動する指数、米国株式：S & P500先物（E-mini）に連動する指数、欧州株式：DJ Eurostoxx50先物に連動する指数、新興国株式：新興国の株価に連動する指数、日本国債：長期日本国債先物に連動する指数、米国国債：10年米国債先物に連動する指数、欧州国債：ドイツ国債先物に連動する指数、金：金先物に連動する指数、キャッシュ：米国短期金利

(注4) ダイナモ指数は上記9資産からなるポートフォリオの収益率から指数諸経費および手数料等を控除した値となります。

このたび償還を迎えるにあたりまして、当ファンドへのご愛顧に心より感謝申し上げますとともに、今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

## ■ 1口当たりの費用明細

項目	第6期		項目の概要
	(2023年5月23日 ～2023年6月9日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	8円	0.065%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は13,043円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	( 4)	(0.031)	
(販売会社)	( 4)	(0.031)	
(受託会社)	( 0)	(0.003)	
(b) その他費用	1	0.009	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(保管費用)	( 1)	(0.009)	
合計	10	0.074	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

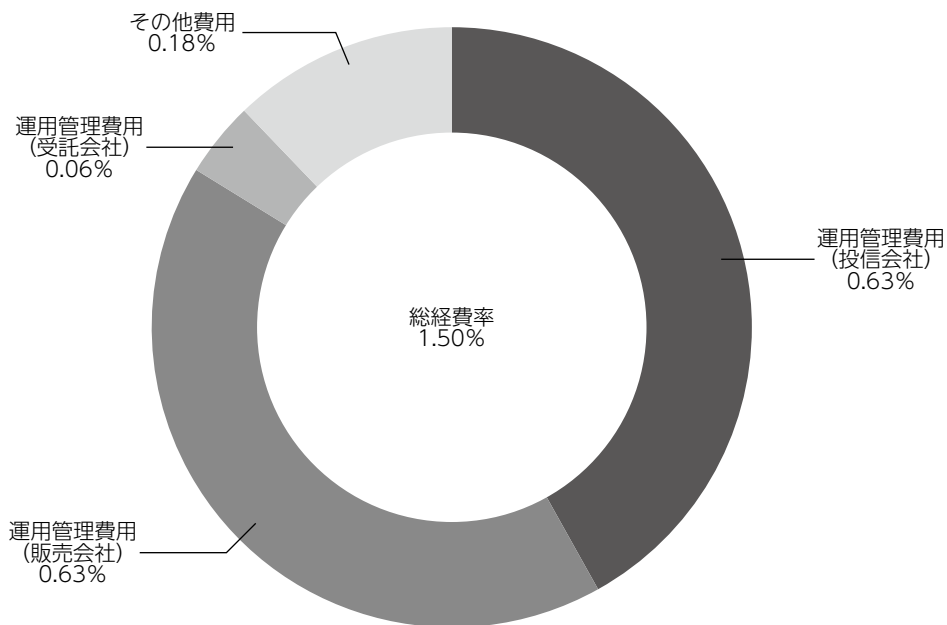
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

### ◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.50%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## ■売買及び取引の状況（2023年5月23日から2023年6月9日まで）

### 公社債

			買	付	額	売	付	額
外国	アメリカ	社債		千アメリカ・ドル			千アメリカ・ドル	
				—			—	(16,400)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ( ) 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

## ■利害関係人との取引状況等（2023年5月23日から2023年6月9日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■組入資産の明細

償還時における有価証券の組入れはありません。

## ■特定資産の価格等の調査

当ファンドにおける期中の該当事項はありませんでした。



## ■投資信託財産の構成

2023年6月9日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 2,421,211	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	2,421,211	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年6月9日)現在

項 目	償 還 時
(A) 資 産	2,421,211,026円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	2,421,211,026
(B) 負 債	1,574,957
未 払 信 託 報 酬	1,569,041
未 払 利 息	5,916
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	2,419,636,069
元 本	1,854,100,000
償 還 差 損 益 金	565,536,069
(D) 受 益 権 総 口 数	185,410口
1 口 当 た り 償 還 価 額(C/D)	13,050円19銭

(注) 設定年月日 2018年5月21日  
 設定元本額 5,014,300,000円  
 期首元本額 1,857,100,000円  
 期末元本残存率 37.0%

## ■損益の状況

当期 自2023年5月23日 至2023年6月9日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	1,735,835円
受 取 利 息	1,820,162
支 払 利 息	△84,327
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	38,407,929
売 買 損 益	38,407,929
(C) 先 物 取 引 等 取 引 損 益	△2,304,442
取 引 損 益	△2,304,442
(D) 有 価 証 券 評 価 差 損 益	564,336
(E) 信 託 報 酬 等	△1,780,661
(F) 当 期 損 益 金(A+B+C+D+E)	36,622,997
(G) 前 期 繰 越 損 益 金	529,811,672
(H) 解 約 差 損 益 金	△898,600
(I) 合 計(F+G+H)	565,536,069
償 還 差 損 益 金(I)	565,536,069

(注1) (E)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注2) (H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ■投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2018年5月21日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2023年6月9日		資産総額	2,421,211,026円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	1,574,957円
				純資産総額	2,419,636,069円
受益権口数	501,430口	185,410口	△316,020口	受益権口数	185,410口
元本額	5,014,300,000円	1,854,100,000円	△3,160,200,000円	1口当たり償還金	13,050円19銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	4,813,600,000円	4,746,245,792円	9,860円	0円	0.00%
第2期	3,624,400,000	3,716,206,335	10,253	0	0.00
第3期	2,675,900,000	2,795,466,438	10,447	0	0.00
第4期	2,306,900,000	2,690,467,237	11,663	0	0.00
第5期	1,857,100,000	2,386,911,672	12,853	0	0.00
信託期間中1口当たり総収益金及び年平均収益率				3050.19円	6.0310%

## 償還金のお知らせ

1口当たり償還金（税引前）	13,050円19銭
---------------	------------

### 償還乗換えの優遇措置の適用について

当ファンドの償還金をもって他の証券投資信託をお求めになる場合には、購入時手数料のうち所定の額を返戻または割引く措置の適用を受けられる場合があります。優遇措置の適用は販売会社によって異なりますので、詳しくは取扱販売会社までお問い合わせ下さい。